



▲第1回の懇話会の様子
(平成13年4月19日)



◀市役所本館1階にて行われたジェンダー・バリアフリーチェック
(5月16日)

男女共同参画推進懇話会(会長:古川芳子)では、平成13年4月に美濃加茂市男女共同参画基本計画策定にあたり、美濃加茂市長から諮問を受けてから、平成14年2月までに、7回の懇話会と2回の勉強会を開催してきました。

協議をする過程で、私たち市民一人ひとり~子どもから大人まで、全ての人~の人権が尊重される、住み良い「まち」にするために、男女共同参画を推進することは最も重要な課題であることを確認し、5つの項目について中間提言をしました。

男女共同参画懇話会 中間提言

全ての人の人権が尊重される 住み良い市にするために

テーマ① 環境都市

**利用者のニーズを把握し
快適な環境の維持**

公的施設のジェンダー(※1)チェック、バリアフリーチェックを実際に利用する女性や子ども、高齢者、障害者の視点で定期的にチェックをすることを提案します。

テーマ② 教育文化

**生涯にわたって学習を
続けていくための基盤整備**

性別、年代を問わずだれでも参加できる通年のジェンダー講座の開催や生涯学習の場に適切な情報を提供できる男女共同参画アドバイザーの養成など社会教育の場でのジェンダー意識の啓発が重要な課題です。

また、性別役割分担意識(※2)に基づいた地域の慣行など地域社会における男女平等の環境整備についての学習機会の拡大が望まれます。

テーマ③ 健康福祉・環境

学校教育の場では、市内全小中学校においての混合名簿(※3)導入、「隠れたカリキュラム」(※4)に教職員自身気づきかけとなるジェンダー研修の開催など子どもたちにジェンダーフリーな教育環境を提供していくことを提案します。

また、児童センターをはじめとして学校、公民館、図書館などを利用しての伝承遊びクラブなど、地域の高齢者やボランティアグループと子どもたちの出会う機会を増やしていくことを提案します。

テーマ④ 健康福祉・環境

**家庭で地域で学校で男性と女性が
同じようにかかわる**

子どもたちに直接かかわる職場では男性、女性に偏ることのない環境が求められます。

そのために保育士、児童館スタッフ、児童委員など公的な子育ての場に**男性職員の積極的な採用**を求めます。

市民まちづくり推進室
内線 362